

平成 21 年 1 月吉日

各 位 殿

日本遺伝学会第 81 回大会
大会委員長 伊藤 建夫
(信州大学 理学部 教授)

日本遺伝学会第 81 回大会学会資金寄付のお願い

拝啓 時下益々御隆盛のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本遺伝学会第 81 回大会が、平成 21 年 9 月 16 日（水）～18 日（金）までの 3 日間、信州大学 理学部を会場として開催される運びとなり、現在鋭意準備を進めております。本学会は、会員数 1,000 名余りを数えており、ライフサイエンス分野において、日本で最も伝統のある学会の一つとなっております。その創立以来、分子レベルから個体・集団のレベルまで時代に応じて優れた研究成果と研究者を輩出してきました。学会誌としても Genes&Genetic Systems を定期刊行しており、こちらは 2009 年には第 84 巻を発刊するに至り、国際的にも認知されたものになっております。広く細菌からヒトまでの莫大なゲノム情報が蓄積されつつある今日、分子レベルから個体・集団のレベルまで生物学の広い分野をカバーする日本遺伝学会の果たす役割はより重要なものになっていると確信します。

さて、松本での開催は実に 62 年ぶりとなりますが、本大会には、全国の大学及び研究機関より 400 名以上の研究者・学生が参加する予定であります。これまでの伝統を守り、口頭による一般講演を中心にプログラムを編成します。細菌からヒトまで、分子レベルから個体・集団のレベルまで、さまざまな分野の方々が多数参加され、発表、討論、情報交換が行われることを期待しています。また、本大会では、最先端の研究内容から地方色のある研究内容まで多くのテーマについて、ワークショップ、ミニシンポジウムとシンポジウムを開催します。分子遺伝学・分子生物学から集団遺伝学などのあらゆる研究領域に関する様々な発表、討論が行われます。

学会は基本的には学会員の相互啓発が目的でありますので、大会の運営も当然学会の自己資金と参加費により賄われるべきものと認識致しておりますが、基礎系研究者中心の参加者には支出可能額も限られており、一部は各方面からの浄財に頼らざるを得ないのが現状であります。従来の遺伝学会大会が何れも成功裡に開催できましたのは、ひとえに各方面からのご支援によるところが大きく、遺伝学会関係者一同心より感謝致しております。

つきましては、本大会開催をこれまでも増して有意義なものにするため、引き続きご支援、ご援助を賜りたく、お願い申し上げます。

諸経費ご多端のおり、誠に恐縮ではございますが、何卒ご高配のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

日本遺伝学会第 81 回大会

募 金 趣 意 書

会 期：平成 21 年 9 月 16 日（水）～18 日（金）

会 場：信州大学 理学部（長野県松本市）

日本遺伝学会第 81 回大会
大会委員長 伊藤 建夫

（信州大学 理学部 教授）

開催概要

1. 名称

日本遺伝学会第81回大会

2. 主催

日本遺伝学会第81回大会 大会委員長 伊藤 建夫

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

信州大学 理学部 教授

Tel: 0263-37-2489 FAX: 0263-37-2560

3. 会期

平成21年9月16日(水)～18日(金) 3日間

4. 会場

信州大学 理学部 A棟および講義棟

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

5. 参加予定人数

約400名

6. 開催の目的と意義

本大会では、全国の大学・研究機関より多数の研究者の参加が期待され、遺伝機構について分子レベルから個体レベル、また集団・生態から生物進化にいたる多くの新知見が発表され討論されます。発表形式は、口頭による一般講演とワークショップを主とし、さらにシンポジウム、ミニシンポジウム、公開市民講座が予定されています。

こうした学会員の研究発表と意見交換を行うことで、新しい研究領域の創成、研究上の協力体制の誕生と強化、新たな実験技術の導入による研究レベルの向上などの効果がもたらされると考えております。その効果は、我が国のライフサイエンス分野の今後の発展を促すのみならず、多くの病因・病態解明といった方面への糸口が開かれる可能性があります。以上のように、本学会大会の開催は、遺伝学領域の学問的発展を保障し、併せて産業への革新的な発展の可能性を提供し、ひいては、健康な人間社会の確立に大きな役割を果たすものと確信しております。

7. 開催計画の概要

1. 事業の内容

9月16日（大会1日目）

午前 一般講演

午後 ワークショップ、ミニシンポジウム、公開市民講座

9月17日（大会2日目）

午前 一般講演

午後 ワークショップ、シンポジウム、総会/受賞講演、懇親会

9月18日（大会3日目）

午前 一般講演

午後 ワークショップ

8. 開催実績一覧

開催年度	回	開催都市	会長
2000年	第72回大会	京都	宮田 隆（京都大学）
2001年	第73回大会	東京	石和貞男（お茶の水女子大学）
2002年	第74回大会	福岡	山崎常行（九州大学）
2003年	第75回大会	宮城	山本和生（東北大学）
2004年	第76回大会	大阪	品川日出夫（大阪大学）
2005年	第77回大会	東京	五條堀 孝（国立遺伝学研究所）
2006年	第78回大会	つくば	小幡裕一（理化学研究所）
2007年	第79回大会	岡山	香川弘昭（岡山大学）
2008年	第80回大会	名古屋	森 郁恵（名古屋大学）

9. 予算概要

(1) 収入の部

費目	予算額	備考
(1) 参加登録費	1,955,000	参加者 329 名
(2) 懇親会参加費	631,000	参加者 116 名
(3) 要旨集広告掲載料	105,000	
(4) ランチョンセミナー参加料	200,000	
(5) 展示会出展料	504,000	
(6) 補助	1,200,000	学会補助金、コンベンション協会補助金
(7) 寄付金	500,000	
計	5,095,000	

(2) 支出の部

費目	予算額	備考
(1) プログラム予稿集費	950,000	
(2) ポスター印刷費	350,000	
(3) 事務・通信費・雑費	645,000	
(4) 会場費	50,000	
(5) 会場設営・設備・備品費	750,000	
(6) 運営人件費・諸経費	1,500,000	
(7) 懇親会費	700,000	
(8) 招待・接遇関係費	150,000	
計	5,095,000	

10. 大会の運営

日本遺伝学会第 81 回大会運営委員会

大会委員長 伊藤建夫（信州大学）

事務局長 浅見崇比呂（信州大学）

プログラム委員長 伊藤靖夫（信州大学）

11. 寄付金募金要項

1) 募金の名称

日本遺伝学会第 81 回大会 協賛金

2) 募金目標額

50 万円

3) 募集期間

平成 21 年 1 月から平成 21 年 9 月末日まで

4) 寄付金形式：協賛金（1口 30,000円から）

5) 寄付金の用途

平成21年9月16日（水）～18日（金）の3日間、松本市において開催される「日本遺伝学会第81回大会」の準備、運営および関連諸行事等の費用に充当させていただきます。

6) 寄付金の払込方法

別紙の「寄付申込書」にご記入のうえ、FAX送信してください。

寄付金は下記の口座にお振込ください。

銀行名：八十二銀行

支店名：信州大学前支店

口座名義：日本遺伝学会第81回大会

口座番号：普通預金口座 No. 779399

7) 本件に関するお問い合わせ先

日本遺伝学会第81回大会 事務局

株式会社エー・イー企画（担当：屋敷 智之）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-8 昭文館ビル 3F

TEL. 03-3230-2744 FAX. 03-3230-2479

E-mail: iden81@aeplan.co.jp

寄 付 申 込 書

平成 年 月 日

日本遺伝学会第81回大会
大会委員長 伊藤建夫 殿

今般、「日本遺伝学会第81回大会」の趣旨に賛同し、下記の通り寄付いたします。

寄付金額 金 _____ 也 (1口30,000円から)

寄付者 〒

住 所 _____

芳 名

(御社名) _____

代表者

職・氏名 _____

担当者

職・氏名 _____ (印)

電話番号 _____

FAX 番号 _____

1. 払込予定期日

一時払 平成 年 月 日

分割払 第 回 平成 年 月 日

第 回 平成 年 月 日

2. 払込方法

振込先口座 八十二銀行 信州大学前支店

普通預金口座 No. 779399

口座名義 日本遺伝学会第81回大会

振込用略称 ニホンイデンガツカイハチジュ

(上記の略称でもお振込みいただけます)